

2021 年度エコマテリアル・フォーラム国内シンポジウム

—地方創生と環境教育—

気候変動・自然災害・コロナ禍と我々を取り巻く環境の変化は、否応なしに我々及び後の世代に後戻りの利かない脅威として迫っております。この事態に際しては最早、専門家や国や自治体の施策に身を任せているだけでは済まされず、我々一人一人がしっかりと判断（リテラシー）をしていく必要があります。そしてその動きは、図体の大きい中央よりも小回りの利く地方こそその先陣を切れるものと考えます。

中でも地方創生の担い手として注目されているのが Z 世代です。デジタルネイティブと言われる世代（1990 年代後半から 2010 年頃までに生まれ、インターネットが当たり前の世代）で、日本人口の約 14% を占めています。特徴は、形や風習にとらわれず、購買力や行動力が高いことなどです。日本は 2050 年にカーボンニュートラルを目指しておりますが、その頃に Z 世代は日本の中心的世代となります。

エコマテリアル・フォーラムは、設立 28 年目を迎える材料系研究会です。第 15 回エコマテリアル国際会議（2022 年）の開催都市である岐阜市のご協力の下、10 年後を志向した講演会を企画しました。「地方創生に向けた人づくりは？」、「Z 世代に知ってほしい本物の環境配慮材料（エコマテリアル）とその教育は？」がテーマです。皆様のご参加をお待ちしております。

主催：エコマテリアル・フォーラム

日時：2021 年 10 月 22 日（金）

場所：オンライン開催

参加費：フォーラム会員無料、非会員 1000 円

参加登録サイト：<https://ecomat2021.peatix.com>

オンライン YouTube 配信もあります

プログラム（案）

		司会：篠原 嘉一（NIMS）
13:00-13:10	開会挨拶	会長 原田 幸明
13:10-13:20	第 15 回エコマテリアル国際会議の紹介	徳島大 長谷崎 和洋
13:20-13:50	うべ環境コミュニティの活動	宇部市まちなか環境学習館 加藤 泰生
13:50-14:20	子供夢基金を活用したエコものづくり体験学習教室の取り組み	千葉職能短大 小川 和彦
14:20-14:50	AI による革新的実験計画法「Multi-Sigma」による研究開発「超」効率化と環境負荷削減	産総研 河尻 耕太郎
14:50-15:00	休憩	
		司会：梅澤 修（横浜国大）
15:00-15:30	大学との連携による持続可能な島づくり	岐阜市役所 篠崎 道裕
15:30-16:00	地域企業等の温暖化対策と高校生や大学生を結ぶ環境教育（仮）	横浜国大 松本 真哉
16:00-16:30	アジアのローカル資源と子どもたち	open house 益田 文和
16:30-16:40	WG 1 報告	神奈川大 岡部 敏弘
16:40-16:50	WG 2 報告	工学院大 桑折 仁
16:50-17:00	WG 3 報告	岩手大 山口 明
17:00-17:15	総合討論&閉会挨拶	元山口東京理科大 加納 誠